

藍の生葉ぞめで コースター作り (生活科・総合で)

◆ ものづくりのねらい

藍は江戸時代から盛んに使われた染料植物である。日本では各地で藍栽培が行われ、藍の染物が行われてきた。

この藍を使って、植物の汁は布などを染めることができることに気づかせ、染物を楽しむ。



◆ 藍の栽培

- ① 夏休み明け9月ごろに藍染めができるように、5月ごろにプランターに藍の種をまく。
(水分が不足すると発芽しにくいので、種を網の袋に入れて水に沈め、エアーポンプで空気を送って、芽を出させてから蒔くとよい。)
- ② 乾燥に弱いので水やりを欠かさないようにする。肥料も適度に必要。
- ③ 5～10cmくらいの大きさになったら、畑に植えかえて育てる。
- ④ 花が咲きはじめると、きれいな色に染まらなくなるので、その前に藍染めを行う。
- ⑤ いくつかの株は刈り取らず、来年の種を取る。

◆ 作ってみよう! ……藍の生葉ぞめでコースター

- <準備物> ・布(6号帆布…固くごわごわしていて、葉っぱをこすりつけると汁がでやすい。
布を切ったあとに、糸を抜くだけで端の処理ができる。)1m1000円ぐらい。
・ステンシルをするための紙(牛乳パックや渋紙)
・カッター、セロテープ

- <作り方> ①帆布を15cm×15cmぐらいの大きさに切る。(教師が切っておく)
②牛乳パックや渋紙などに、好きな形をかき、カッターで切り抜く。
③型を切りぬいた紙を布に当て、セロテープでとめる。
④藍の生葉を布にこすりつけて汁を出して染める。2～3日乾かす。
⑤葉っぱのかすをとるために水洗いをして、アイロンをかけてできあがり。

◆ 発展…乾燥葉で藍染め

葉を乾燥させれば、長く保存しておける。その葉を煮出して汁を取れば、いつでも藍染めができる。ちょっと本格的な藍染めにも挑戦してみましょう。